

英語を楽しく

No. 34

24, December

☆ **perhaps** とを **probably** 使い間違えるとたいへん!

ある家族の夕食に招かれた A さん、その家の娘さんが有名な B 大学を受験するという話題になったとき、

“Your daughter will **perhaps** pass the examination of B college.”

と言った。すると、娘さんは泣くし、父親と母親は怒るし、その場で A さんはおろおろするばかり、なぜ? A さんは、「娘さんは合格しますよ。」 **perhaps** ならわるい結果
と言ったつもりなのに…と。実はこうです。

perhaps = たぶん (…かもしれない)
起こる確率は通常 2 ~ 3 割程度の感じ



ですから、A さんは

「娘さんは、B 大学にはほとんど合格しないでしょう。」

と言ったことになるのです。そこで、次のように言えばよかったです。

“Your daughter will **probably** pass the examination of B college.”

「娘さんは きっと合格しますよ。」

probably = たぶん
6 割以上の確率大を意味する



probably ならよい結果

perhaps も **probably** も「多分」と訳されるので、
ついつい同じ意味の単語と思って使ってしまうのですね。

そうそう、もし彼女に愛されているか
どうか心配な友達がいたら、

“She will **probably** love you.”

「彼女は君を愛しているよ。」

と言わなくちゃね。

“She will **probably** love you.”

“She will **perhaps** love you.”

real intention (本音)



☆ クリスマスとは?

Christmas とは **Christ's Mass** (キリスト) の祝日で 教会行事で最も大切なもの。5 世紀頃、12 月 25 日がクリスマスの日と決められた。この日、子供達はプレゼントをもらって、家族そろって教会に行く。

I wish you a merry Christmas.

よいクリスマスをお迎え下さい。

Merry (A merry) Christmas (to you).

クリスマスおめでとうございます。

返事は、**Same (The same) to you!** とか **You too!**

英国では **merry** の代わりに **happy** を用いることも多い。

○ クリスマスを **X'mas** と書いているものが

ありますが間違いです。正しくは **Xmas**。

Yoshi